

身近にある

日本書紀ゆかりの地をめぐってみませんか。

日本書紀めぐり旅

Vol. 1

桜木神社

天武天皇をかくまった桜とゆかりの深い古社



「桜木神社」

所 吉野郡吉野町喜佐谷423
問 吉野町観光案内所
 ☎0746-39-9237

近鉄大和上市駅より奈良交通バス「湯盛温泉杉の湯」行き乗車、宮滝バス停下車南に約1km。

桜木神社周辺のルートマップは下記から

歩く・なら 白泡の玉と響く

『日本書紀』は奈良の都で編纂され、『古事記』完成から8年後、奈良時代の720年に成立した、朝廷編纂による日本国の正史です。

天武天皇は自身の即位をめぐって起きた「壬申の乱」などで、それまでの歴史書が消失したことを憂い、諸外国に通じる史書の編纂を命じたとされています。その「壬申の乱」に際し、天武天皇をかくまい助けた桜とゆかりの深い古社が桜木神社です。

即位をめぐる対立から、吉野へ身を隠した大海人皇子(後の天武天皇)。そこで大友皇子(大海人皇子の兄である天智天皇の子)の伏兵に攻められた際、この地の桜の大きに勝地としても知られています。

社には国造りの神であり、医療の神でもある大己貴命と少彦名命、そして篤くこの地を敬った天武天皇が祀られています。古くから疱瘡除けにもご利益があるとされ、信仰を集めてきました。社頭には、『日本書紀』の一文、「虎に翼を着けて放てり」と刻んだ石碑が立ち、大海人皇子の吉野入りを見守る人々の心情がうかがい知れるようです。

社があるのは、『万葉集』にも詠われる象の小川のほとり。昔ながらの屋形橋「木末橋」が境内地へと誘います。石灯籠や朱塗りの社殿、四季の情景がそれぞれに美しく映え、名

社があるのは、『万葉集』にも詠われる象の小川のほとり。昔ながらの屋形橋「木末橋」が境内地へと誘います。石灯籠や朱塗りの社殿、四季の情景がそれぞれに美しく映え、名

勝地としても知られています。

記紀・万葉プロジェクトのご紹介

●奈良県では、2012年から2020年までの9年間、『古事記』『日本書紀』『万葉集』に代表される歴史素材を活用し、「本物の古代と出会い、本物を楽しめる奈良」を実現していくための取り組みとして「記紀・万葉プロジェクト」を推進しています。

問 県ならの魅力創造課

☎0742-27-8975 FAX0742-27-7744

- 平成27年度からは、中心素材を『古事記』から『日本書紀』にも広げ、さまざまな取り組みを進めてまいります。
- 講演会やウォークなど、さまざまな取り組みを展開します。詳細はホームページ、Facebookでご紹介していきますので、ぜひご覧ください。

なら記紀・万葉



NaraKikiManryo Project 2012-2020

なら記紀・万葉